

胸を張って堂々と入場行進

# 前年優勝

よくやった

## “やればできる岩中魂”

岩室中学校長 小田 志朗

全国大会出場の前年優勝を果として高い評価をうけ、前年度優勝浦生中(大)のたのびです。郡市、地区、県、大阪を破っての三回戦出場大会と無敗を誇り、自信は特に注目を集めました。ゆとりからなのか一つの風格がそなわってきているように感じています。だから全国大会で何かやるのではなかろうかと心ひそかに期待していたのです。

全国大会は粒よりのチームであり、簡単な勝利はしてくれません。逆転の一回戦、接戦の二回戦とよく勝抜きました。

このたびの健闘は「岩中魂」を生かしたところ、自信を持って示すことができました。全校生徒に与えた影響は絶大なものがあり、他の面に及ぼしていきたいものであります。

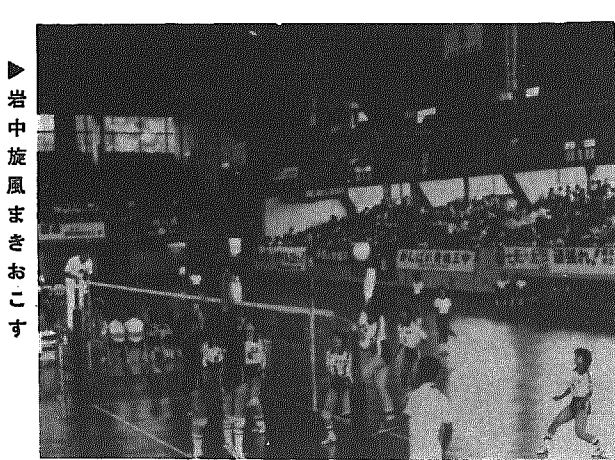
村をあげての物心両面にわたる援助に対し、心から厚くお礼を申し上げます。かくの如き声援があったらこそ、あそこまでプレー部はやれたと考えます。ありがとうございました。

### 全国大会出場選手名

主将6	海津由美子	3年	9	斎藤景子	3年
1	加藤早苗	3年	10	瀬戸由美子	3年
2	本間郁子	3年	11	野水康子	3年
3	秋山豊子	3年	12	西村直子	2年
4	山田晴美	3年	13	水倉利佳	3年
5	岸本律子	3年	14	岡島千鶴子	3年
7	伊藤美和子	3年	15	池上嘉奈子	3年
8	竹内和美	3年			

# 浦生中破り3回戦まで進出

岩室中学校女子バレー



岩中旋風まきおこす

レベルの高い関東地区で入賞している真節は強敵であり、試合巧者で巧みにライオン際にボールを落とし、初戦の岩室は固さもあって打ちまわしリードされ、一セットを先取られてしまいました。第二セットようやく調子を上げ、一時11-7とリードされたが、加藤、山田のトス、ブロックが決まりそのまま逆転して二セットを取りました。第三セット本場のスパイクで3-3としたものの、その後9-3と一方的にリードされ苦戦となったが選手の表情は勝利が楽になった岩室は、こまねずみのようにコートポイントをできっかけきなりサーブポイントにされたものの、岸本の絶妙のクイックが決まり、その後12点連取しました。第二セットは勝ちを意識して途中リズムを乱したものの、第三セットはよく立ち直り岩室のスパイクは好調に相手コートにたたきこまれ14-11から秋山のサーブがエンディング、誰かが予想しなかった岩室を破ることができました。全選手が信じられぬという表情で汗にまじって涙でぬれた顔で抱き合っていました。

△三回戦  
十七日九時三〇分  
岩室0 11-15 2 山田中(宮崎)

岩室を出発して四日目、連日の暑さと緊張で疲労は極に達した感があり、それが試合開始直前故障となつて表われ、自分達のバレーをしないうちにゲームは終ってしまいました。監督の選手管理のいたらなさが敗戦につながったことは悔まれてなりません。

連日連夜の猛暑と緊張感からくる疲労に選手はよくぞ耐えてくれました。ある程度の成就感と敗れた悔しさを残して試合が終了した選手達は涙の中に解放感からかさやかな笑顔をみせてくれました。



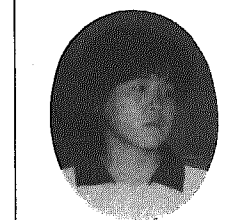
岸本 律子

一回戦を苦戦した末勝った私たちは、すっかり緊張がほぐれ、とても楽な気持ちになりました。そのせいか、二回戦の浦生との試合の時は、緊張するどころかこちらの方がおせおせムードになって、勝利を取ることができました。推薦されて来た浦生に勝つては、監督の鈴木公夫先生、思っていた以上にいい思い出になりました。



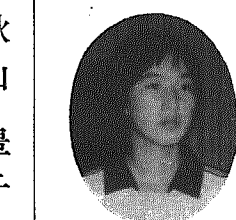
山田 晴美

全国大会。言葉で言い表わせない程の、緊張の連続でした。三年間耐えてきた苦しい練習を無駄にせず、総てをこの大会に賭けてみました。私は一回戦に勝つことより、自分の今持っている力で、全力を出し尽すことを目標としコートの上に立ちました。結果は、三回戦で破れましたが悔は残りません。ほんとうに、みなさんの暖かい声援ありがとうございました。



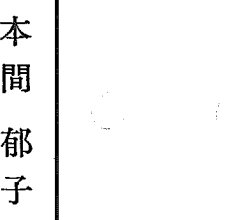
秋山 豊子

全国大会に出場できた喜びは、ほんとうに大きなものでした。私は、出場するのなら、一回戦はぜったいに勝ちぬいてやろうと思っていました。勝つた時はもう、うれしすぎて、いっぱい泣きました。そして二回戦も勝ちたいと思う気持ちが、わき上がってきませんでした。二回戦も勝つた時、私はほんとうに信じられませんでした。今は、一、二回戦勝つた喜びと、感謝の気持ちでいっぱいです。



本間 郁子

八月十四日、東三条を後にして東京へと出発、始めて見た「東京体育館」十五日開会式、行進、そして九八チーム全員整列、「これが全国大会だ。」と痛切に感じた。十六日より試合開始、第一、第二試合ともに勝つことが出来ました。これは、コートに入る者だけでなく、声援して下さった先生方、村全体の方々みなのおかけだと思います。「ありがたうございました。」一生の思い出です。



加藤 早苗

ただもう初戦だけは勝ちたいと思っていただけですが、二回戦を勝ち、三回戦まで駒を進めることができ、自分でも信じられませんでした。

特に浦生との試合は、全く勝つなんて思ってもいなかった私達ですが、最後の一点が決まった瞬間、みんな抱き合つてよかったです。

ほんとに良い思い出になったと思います。一生この体験は忘れないでしょう。



主将 海津 由美子

初の全国大会出場、三回戦までコマを進めることができたのも、皆さんの声援と指導のおかげだと思います。私達にとって、一生忘れない思い出になりました。

三回戦での試合は悔いが残りますが、予想以上の好成績で、私自身信じられないほどでした。バレーボールをやっていたよかったと、心からそう思います。

本当にいろいろありがとうございました。



監督 鈴木 公夫

宿願の全国大会に出場し全国的にみてレベルの高い千葉、大阪のチームと対戦し三回戦まで進出できたことは望外の喜びです。

ここまでこれたのは、体育館をはじめとする素晴らしい環境と地域、家庭の方々の心暖まる御協力、御声援のお陰と生徒と共に深く感謝致しております。

生徒もよく努力し、苦しさに耐えてくれました。この貴重な体験を今後に生かしてほしいと思います。

## 監督・選手の声